

授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること。(第5号関係)

教育課程編成・実施の方針

| 学 科 名 | 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) |
|---------|---|
| ビジネス法学科 | <p>本学科では、「実践的な職業教育」という教育理念に基づき、多種多様な分野で長く活躍できる人材を育成するため、以下のような方針に基づいて教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公務員や社会人にとって必須となる「法律や契約の内容を理解できる力」を修得するため、法律系科目を開講する。 2. 様々なビジネスシーンで必要となる「分析・提案できる力」を修得するため、経済・経営系科目を開講する。 3. 社会人としての強み(適性)を理解し、「伝える力」、「チームで働く力」を修得するため、グループワークを中心としたキャリア科目を開講する。 4. 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を修得するため、基礎科目を開講する。 5. 目標とする進路への理解を深め、そのモチベーションを高めるため、4つのコース(①公務員コース、②商経ビジネスコース、③編入学コース、④アジアビジネスコース(留学生のみ))を設置する。各コースでは、進路に到達するために必要な科目や、資格取得に直結する科目、その他キャリア支援科目を開講する。 |
| 緑地環境学科 | <p>本学科では、“緑”を人類の生命の源として位置づけ、“緑”の多面的・複合的な機能に着目して“環境”を“緑”の視点で捉えることで快適な生活環境を創造し、人間と自然との総合的な調和ができる人材を育成するため、以下のような方針に基づいて教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次にはそれらの基礎を学びつつ、自らのキャリアデザインの方向を定めるため、3つのコース(①造園芸術コース、②ガーデンデザインコース、③自然環境デザインコース)を設置する。各コースでは、進路に到達するために必要な科目や資格取得支援科目を開講する。 2. 2年次にはその応用へと展開しながら社会人への準備を進めるため、造園・園芸・自然環境系の応用科目、専門性の高いゼミナールを開講する。 3. 身近な庭園から公共造園、地域社会そして地球環境問題まで、社会・時代の要求に応える科目を開講する。 4. 福浜・二丈の2つのキャンパスを活用して、中堅技術者・自営業者として必要な実践的科目を開講する。 |
| 社会福祉学科 | <p>本学科では、専門的知識や確かな介護技術を身につけた「心と体のケアのスペシャリスト」の養成を目指し、以下のような方針に基づき教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者や障がい児・者のニーズを理解し、個別的課題に対応できる力、対象者に応じた生活を支援する力を身につけることができる専門的知識や理論、技術を学ぶための専門科目を開講する。 2. 介護実践を支える教養を高め、豊かな人間性を養う科目を開講する。 3. 対象者の生活の質や人生を豊かにするための「アクティビティ」や「心 |

| | |
|-----------------------|---|
| | <p>と体を癒やすケア」を身につけることができる専門科目を開講する。</p> <p>4. 介護福祉士としての実践力や倫理性を養うため、実習やボランティアなどを通じて、他職種連携やチームケアを現場の介護福祉士等から直接学ぶ体験教育を重視した科目を開講する。</p> <p>5. 介護福祉士として、身につけた知識やスキルを統合的に捉えるための専門科目を開講する。</p> |
| 保育学科 | <p>本学科では、「思いやりの保育力」を身につけた、豊かな人間性と専門的スキルを備えた保育者の育成を目指し、以下のような方針に基づき教育課程を編成している。</p> <p>1. 「感謝の心」「謙虚な心」「和の心」を大切に、現代社会のニーズに応えることのできる共感力や主体性、誠実さなどの「人間力」を育む科目を開講する。</p> <p>2. 確かなプロ意識の芽を育てるため、実習やボランティア、地域との交流など現場体験を重視した科目を開講する。</p> <p>3. 保育者に求められる専門的な知識やスキル(「専門的知力」)を身につけるための専門科目を開講する。</p> <p>4. 自分の考えや思いを適切な方法で表現することができる力(「表現力」)を身につけるための科目を開講する。</p> |
| 健康スポーツ コミュニケーション学科 | <p>本学科では、「スポーツ活動を実践する全ての人のために」という教育理念に基づき、人間性豊かな専門職業人を養成するため、以下のような方針に基づいて教育課程を編成している。</p> <p>1. ライフスキルを獲得するため、教養科目を開講する。</p> <p>2. 1年次に健康・スポーツ科学の基礎を学ぶための科目を開講し、2年次に健康・スポーツ科学の専門的な知識と方法論を学ぶための科目を開講する。</p> <p>3. スポーツ・運動の指導実践力を獲得するため、1年次にスポーツ実技科目、2年次にスポーツ指導実践科目を開講する。</p> <p>4. 専門性を高めるため、2年次にキッズスポーツコース、フィットネストレーナーコースを設置する。キッズスポーツコースでは、「たくましさ」を創るジュニアスポーツの指導者を育成するために、キッズスポーツ、幼児体育などに関する理論と指導の実践科目を開講する。フィットネストレーナーコースでは、「元気」を創るスポーツ指導者を育成するために、健康スポーツ、障がい者スポーツに関する理論と指導の実践科目を開講する。</p> <p>5. 身につけた知識やスキルを発展させ、人間性と職業スキルを高めるために、学外実習を重視した科目を開講する。</p> |
| メディア・ プロモーション学科 | <p>本学科では、「法律・政治・国際・表現・日本文化」をキーワードとしたカリキュラム編成をし、実践力と社会人基礎力およびコミュニケーション能力を身に付けさせる教育課程を編成している。</p> <p>1. 高い倫理観と法律的なものの考え方を修得するため、法律学分野と政治学分野を中心とした社会科学系の専門科目を開講する。</p> <p>2. 本学科は、それぞれの進路に応じて「メディア表現コース」と「言語コミュニケーションコース」に分かれ、専門的な知識と能力の習得を目指す。</p> <p>3. 「メディア表現コース」では、メディアに関する職業意識と専門的な表現能力を修得するため、メディア系の実務家教員が担当する実践に</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>即した実務科目を開講する。</p> <p>4. 「言語コミュニケーションコース」では、国際社会の一員として活躍出来るよう十分な語学力やビジネススキルを身につけ、異なる文化との価値観を超えた豊かな人間関係を育むための科目を開講する。</p> <p>5. 各コースともに、より実践に即したコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を修得するため、グループワークを中心とした科目および日本文化を伝承しつつグローバル化に対応した人間形成を目指すための科目を開講する。</p> |
|--|--|